

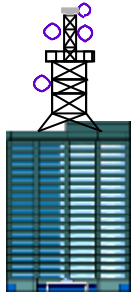
光ファイバ伝送システム
ご導入のご案内

ブロードネッツ株式会社

光伝送サービスについて

光伝送サービスイメージ

- 本社・演奏所など -



各種I/F
・ Analog Audio/Video
・ HD-SDI
・ 64QAM 130MHz-IF
・ 10/100BaseT Ether
etc.



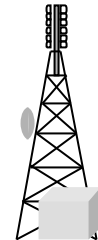
光伝送装置



光伝送装置



- 送信所など -



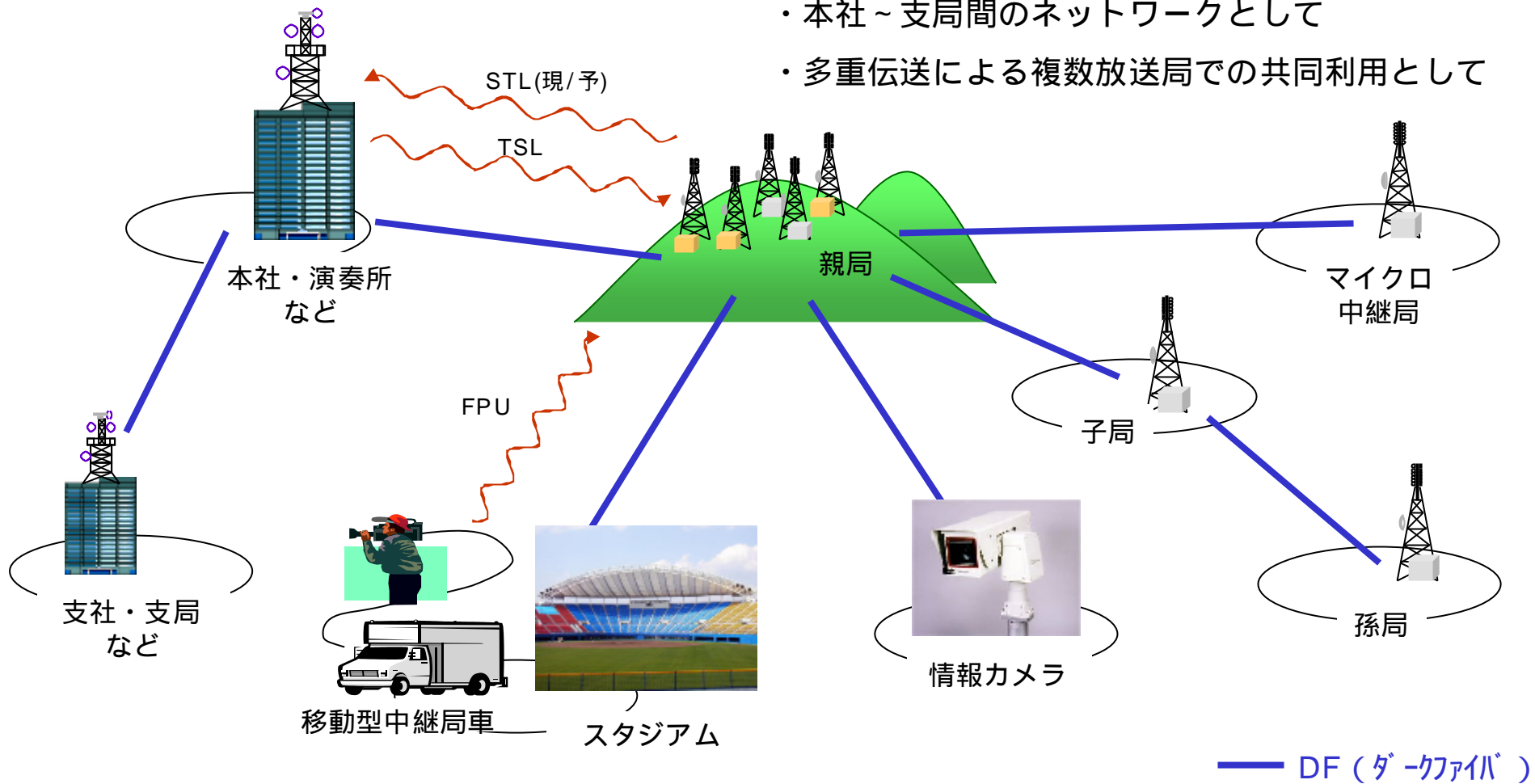
各種I/F
・ Analog Audio/Video
・ HD-SDI
・ 64QAM 130MHz-IF
・ 10/100BaseT Ether
etc.

光伝送サービス

光伝送サービスとは光伝送機器と主に低廉なNTTの未使用光ファイバー（通称：ダークファイバ）を活用することで、低価格で柔軟性に富んだ伝送システムをご提供するサービスです。

想定される利用例

- ・ STL/TSLのバックアップ回線として
- ・ イベント会場からのFPUの冗長系回線として
- ・ 情報カメラとの素材伝送回線として
- ・ 本社～支局間のネットワークとして
- ・ 多重伝送による複数放送局での共同利用として



光伝送のメリット

HDTVを非圧縮で伝送可能

ベースバンドデジタル信号（1.485Gbps）を非圧縮で伝送が可能
コーデックが必要ないため、遅延が生じない。

高品質伝送が可能

伝送障害（フェージング障害、降雨障害）の影響を受けないため、常に安定した信号伝送が可能。

多チャンネル伝送 / 双方向伝送が可能

波長多重、周波数多重により、1芯の光ファイバーで複数の伝送信号の伝送が可能。
マイクロのチャンネル割り当て数を気にしなくてもよい。

ダークファイバのメリット

NTTダークファイバの利用により安価に使用することが可能

NTT地域会社のダークファイバーを中心に伝送路を構成することで、安価に伝送路を使用することができる。

専用線と同様の高いセキュリティ

物理的に1本の光ファイバを占有するので、他からの干渉や影響を受けず、セキュリティが保障される。

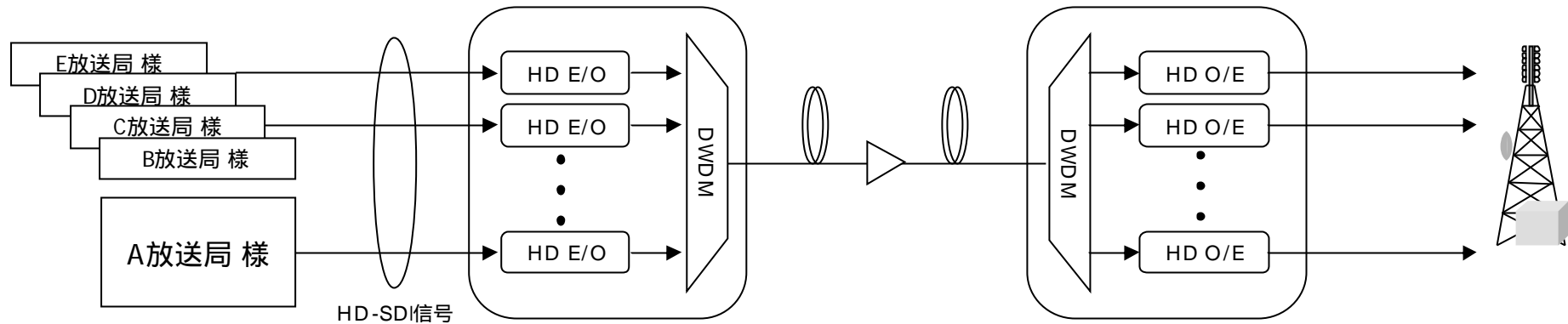
運用上のメリット

共同利用が可能

複数中継箇所を同一伝送路内に含めることができる場合や1中継所からの伝送路を他放送局と共用することによりコストメリットが図れる。

HD化整備などに対する投資軽減

光伝送サービスの利用により、HD化に対する設備投資を軽減できる可能性あり。



コスト削減につながる

光伝送サービスのご提供にあたって

- (1) ご提供方法について
本サービスは通信サービスであり、伝送路と伝送機器とのセットでのご提供となります。
- (2) ご契約期間
ご契約期間は6年間を基本としております。（個別のご要望についてはご相談下さい）
なお、中途解約の際は解約時から当初契約期間の満了日について違約金をご請求させていただきます。
- (3) ご利用料金
ご利用形態（機器構成、心線数、距離）に応じて個別にご提案させていただきます。
ご提供する伝送機器の構成はお客様のご要望に応じて柔軟に対応させていただきます。（例えば「ランニングコスト低減を重視」など）
- (4) 保守
通信事業者よりご提供させていただく回線系装置について状態チェック等、定期点検を行います。
但し、ダークファイバ部分の保守については通信キャリアに依存します。

留意点

ダークファイバ障害については通信キャリアの対応に依存します。

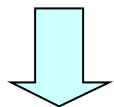
スポットでのご提供について

イベント会場からの中継用途などで、短期間のご利用要望などがあればご相談下さい。

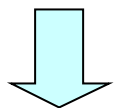
サービスご提供までのフロー

サービスのご提供までの、おおまかなフローを以下に示します。

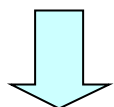
ヒアリング



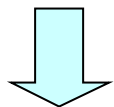
調査結果の回答



お申し込み



工事実施



ご利用開始

お客様のご要望（利用形態、利用希望区間、利用開始希望時期など）をヒアリングさせていただきます。

調査の後、最適な伝送ルートの調査、設計を行い、ご利用の可否を回答致します。なお、ご利用が可能である場合には合わせてお客様に伝送ルート、システム構成、概算料金についてご提案・提示させていただきます。

お申し込み受付後、屋内配線施工の現場調査、設計・施工作業、伝送機器の設置などをお客様と調整させていただき実施させていただきます。

NTTのダークファイバは利用お申し込みから開通までは3ヶ月程要します。

Evertz社光伝送装置の特徴

光伝送装置は、安定運用の実績があるEvertz社製の伝送装置シリーズを中心にご提案させていただいております。

< 主な特徴 >

- (1) マルチフォーマットに対応
さまざまなフォーマットの伝送または、変換が可能です。
- (2) コンパクトなモジュール実装タイプ
多くの他社製品のように信号フォーマットごとに異なる装置をそれぞれ設置する必要はありません。
1筐体のラックフレームに各種モジュールユニットをコンパクトに実装することで使用する信号フォーマットを選択/構成させることが可能です。
さらに各モジュールユニットは通電状態での交換が可能です（ホットスワップ）。
- (3) 最大15モジュールを実装可能
3RUラックフレームの場合には最大15モジュール実装可能です。1RUラックフレームの場合は最大3モジュール実装可能です。
- (4) 電源冗長化
電源とFANは二重化に対応しています。
- (5) SNMPによる監視制御が可能
純正の監視用ソフト(VistaLINK)を使用することで、モジュールの状態を遠隔監視することが可能です。